

# 新上五島町イベント等助成指針

## 1 指針策定の趣旨

新上五島町内におけるイベントは、そのあり方を見直し、5町合併による社会構造の変化や新たな町民のニーズに対応できる役割や再構築が求められており、イベント主催団体（以下「団体」という。）は、自ら積極的に自己改革に取り組み、活性化と効率化を図り、自主・自立的な活動基盤を確立すべきであり、新上五島町は、そのために適切な指導、調整及び支援をする必要がある。こうした観点に立って、指針を策定し、イベント並びに団体の抜本的な改善の推進に取り組むものである。

## 2 基本方針

合併後、時代の変化や町民のニーズに対応した新たな役割を担うなど、効果的・効率的なイベント運営を図ることが求められている。また、最近の規制改革の推進により、これまで公共団体等に限られていた分野にNPO等の仕事の範囲が広がりつつあり、イベント等に取り組む場合の基本方針を次のとおり定める。

### （1）団体の活性化への取り組み

求められる公共サービスの提供や政策推進において、NPOなど他のセクターとの役割分担のもと、連携・協働を図るためのイベントコーディネイトの役割を今まで以上に果たすように取り組む。

### （2）団体の運営効率化並びに町としての財政関与の見直し

イベント内容や効率性を十分に踏まえ、NPOなどに業務を委ねることを基本として推進する。

活動分野が近接しているイベントについては、政策推進と運営効率化の観点から統合または共同化を進める。

補助金を中心に、団体への財政関与を見直し、財政支出の削減につとめる。

### （3）イベント並びに団体の統廃合の推進

団体の活性化や事業の再編・再構築を検証した後、今後の役割が見出せないイベント等については、段階を踏んで統廃合につとめる。

### 3 基本方針にそった具体的な取り組み

- (1) 団体ごとに担うべき役割や事業のあり方を検討する。
- (2) イベント開催にあたって受益者負担を求めながらサービスの向上につとめる。
- (3) 団体の活性化や近接するイベントの見直し、検証を踏まえ、役割や開催意義について検討し、合理化や共同化を推進する。
- (4) イベント主催団体会議（各担当課ごと）を立ち上げ、反省を踏まえた指導、調整を行い、新上五島町補助金交付基準に沿った「公益性」及び「適格性」により評価する。

### 4 団体において取り組むべき事項

- (1) イベントのマンネリ化を避けるために、反省に立ったイベントの開催につとめる。
- (2) イベント運営体制の強化のために組織を見直し、適材適所の人材の登用と活用を図る。
- (3) イベントの開催にあたり、人材育成と士気の高揚を図るために、実務の研修につとめる。
- (4) 町からの補助をうけるにあたり、「公費の使途」という意識をもち、団体の経理状況や事業内容を明確にする。
- (5) 継続イベントは3年間を目処に、その成果を上げるようにつとめる。

### 5 町において取り組むべき事項

- (1) イベント主催団体会議（各担当課ごと）を主催し、意見等の調整を図る。
- (2) 開催されたイベントの評価を踏まえ、改善に取り組む。
- (3) イベントの意義、効果を判断した上で、町の財政的支援や人的支援を見直す。
- (4) 行政評価の視点を踏まえ、イベントの再構築と質の向上、効率化を図り、適正な補助金等による支援の仕組みを確立する。
- (5) 成果が見込める新たなイベント創出の支援に取り組む。

## 6 イベント補助交付基準

- ( 1 ) 本町が補助するイベント等における補助金の額は、新上五島町補助金交付基準交付額等の基準により算定するものとする。
- ( 2 ) 補助金の額は、イベントに係る経費を補助対象とし、実施団体の運営費については補助対象外とする。